【事例6】

お風呂に入るのを嫌がるのですが…

＜対応例１＞
　本人の気持ちを受け止め、入りたくない理由を探し、誘導の仕方を工夫する。

＜対応例２＞
　お風呂の気持ちよさを思い起こさせるため、服を着たまま浴室に連れて行き、お湯を張った湯船を見せたり、触らせたりする。

＜対応例３＞
　入浴が面倒くさいと思っている場合は、温かいタオルで顔や手、足などをやさしく拭く。
　慣れてきたら、足を温める足浴を促す…など、段階を追って進める。

＜対応例４＞
　一人で入ることが不安そうな場合は、「背中を流しますよ」「一緒に入りましょうか」などの声をかける。一緒に服を脱ぐと安心することもある。

本人の気持ち

- **「お風呂」や「入浴」と言われても、何のことかわからない**
- **お風呂の入り方が思い出せず、行動できない**
- **裸になることに抵抗がある、恥ずかしい**
- **無理やり入れられた経験があり、怖い**
- **湯船が深くて、怖い**
- **今は、お風呂に入る気分ではない**
- **もともとお風呂が嫌い**

望ましくない対応例

・「入らないとダメ」などと強制する
・無理やりお風呂に入れる
　⇒無理強いされた不快な感情だけが残り、介護拒否が強くなる

・入浴中に何度も声をかけたり、洗い方に口を出す。
・洗い残しを注意する
　⇒自尊心を傷つけ、入浴拒否につながってしまう